

姫川洪水ハザードマップ

〔対象地区〕
【青海（寺地）・田沢・糸川川（横町 寺島 新鉄 上川）・大野・今井（山本を除く）】



平成7年7月11日 7.11水害
大きな災害をもたらした姫川の増水
(平野地区を撮影)

平成31年3月 糸川川市
消防本部消防防災課 TEL 025-552-2311 〒941-0069 新潟県糸川川市南寺島2丁目10番2号

洪水ハザードマップについて

〔洪水ハザードマップとは〕

◆洪水ハザードマップは、河川が大雨によってはんだしたときに、どこがどのくらい浸水するかを、浸水深ごとに色分けし、その上に必要となる避難情報を重ね合わせて地図上に示したものです。

◆〔姫川浸水想定について〕

◆平成27年の水防法の改正により、想定される最大規模の降雨があった場合の姫川氾濫による浸水等による被害想定が公表されました。

発生頻度は低いものの、ひたたび発生すると、甚大な被害が予想されています。万が一に備え、お住いの地区の浸水深や被害想定をご確認いただき、ご自分やご家族の避難行動について、確認をしておきましょう。

※実際の気象状況や他の要因により、この図面では予想されない浸水被害が発生する場合があります。あくまで、この図面は目安であることに留意してください。

被害想定イメージ

姫川流域最大規模降雨想定

◆12時間連続雨量 352mm
※1時間あたり30mmの雨が平日続いた場合を想定

◆50cm以上の浸水が発生すると、建物では床上浸水が始まります。また、自動車は浮き上がり、流されることもあります。

◆洪水では、濁った水が流れるため、道路の段差や側溝が見えなくなります。また、水面下でマンホールの蓋が開くことが多く、危険です。

◆川氾濫は流れが速く、近くまでの深さがあると歩いて避難することが困難になります。

【参考】平成7年7月11日発生 7.11水害
◆1日午後～12日までに約352mmの連続雨量 485mm

雨の強さと降り方の目安

1時間あたり降雨量ごとの雨の降り方の目安を示しています。
1時間あたり30mmを超えるような雨が降ると、いろいろな災害が起こり始めます。

危険度の高まり	1時間あたり降雨量	人が受けるイメージ	人への影響	屋内での感じ方	屋外の様子	車の走行	想定される災害
↑	8mm/h以上 『猛烈な雨』	●雫のような粒が降り、恐怖を感じる	●はかばかしく立たなくなる。	●水しぶきで視界が暗くなる。	●水しぶきで視界が暗くなる。	●車の運転は危険。	●雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要。
	5.0～8.0mm/h 『非常に強い雨』	●雫のような雨(ゴブレット降り感)	●傘が倒れる。	●壁に水がはたき。	●雨の音がうるさくなる。	●雨の音がうるさくなる。	●地下室や地下通路に雨が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。
	3.0～5.0mm/h 『強い雨』	●傘が倒れる。	●傘が倒れる。	●壁に水がはたき。	●雨の音がうるさくなる。	●雨の音がうるさくなる。	●地下室や地下通路に雨が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。
	2.0～3.0mm/h 『強い雨』	●雫が降り	●傘が倒れる。	●壁に水がはたき。	●雨の音がうるさくなる。	●雨の音がうるさくなる。	●地下室や地下通路に雨が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。
	1.0～3.0mm/h 『やや強い雨』	●ザーザ降り	●傘が倒れる。	●壁に水がはたき。	●雨の音がうるさくなる。	●雨の音がうるさくなる。	●地下室や地下通路に雨が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。

災害の危険性と気象情報の種類

災害等の発生危険度の高まりに応じて、「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。また、特別な気象状況が予想される場合は、警報などを補足して「気象情報」が発表されることもあります。

危険度の高まり	注意報・警報	発表基準・内容	情報の種類
↑	特別警報	●警報の発表基準をはるかに超える異常な現象。 ●重大な災害が発生する可能性が高いとき。	大雨・暴風・暴風雪・大雪・波浪・大潮
	警報	●重大な災害が起こる恐れがある。	大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・大潮
	注意報	●災害が起こる恐れがある。	大雨・洪水・強風・風雪・大雪・波浪・大潮・雷・融雪・濃霧・乾燥・なだれ・低温・霜・着水・着雪
	情報	●注意報や警報に先立つ注意喚起 ●注意報や警報の補充情報 ●社会的に影響の大きな天候についての解説	●台風等〇〇号に関する気象情報 ●大雨に関する気象情報 ●記録的長時間大雨情報 ●土砂災害警戒情報 ●長期間の高温に関する気象情報 など

★お使いのパソコンや携帯電話でも気象情報を確認することができます。

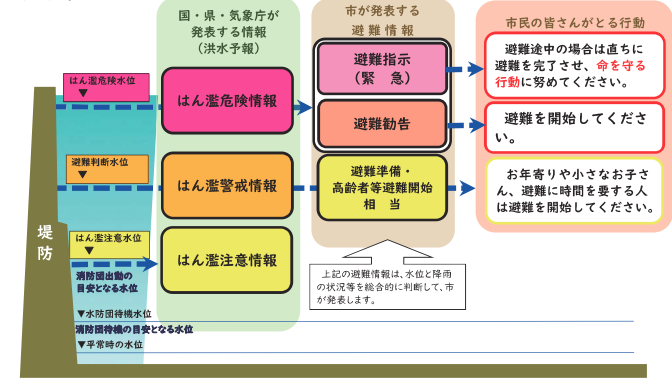
新潟地方気象台HP

気象庁

URL: <http://www.jma-net.go.jp/niigata/> URL: <https://www.jma.net.go.jp/doshamesh/>

川の水位と水防活動、避難行動のめやす

河川の水位が上昇し、はん濫の危険が高まった時には、河川管理者（姫川の場合は高田河川国道事務所及び新潟県）から、水位に関する情報が発表されます。市では、この水位情報と雨の降り方・予測などを総合的に判断し、避難に関する情報を発表します。市民の皆さんも、気象状況に注意いただき、避難情報が発表されたら、ご家族やご近所で助け合って、避難をはじめてください。



被害想定ごとの避難行動のめやす

ハザードマップの浸水深の色分けと被害想定により、避難の方法は変わります。一般的な被害想定ごとの「避難の考え方」は、下の表のとおり分類することができます。

お住いの場所は何色ですか？

区域の色	お住まい	冠水・浸水前	冠水・浸水後
5m～10m 一般住宅は水没	平屋建 2階建	《自宅待機×》	《自宅待機×》
3～5m 2階以上浸水	平屋建 2階建	●2階まで浸水する恐れがあり、必ず早めの避難行動をとってください。	●冠水・浸水がすすんでから避難することは困難です。必ず早めの避難行動をとってください。
0.5～3m 床上浸水	平屋建	《自宅待機△》	《自宅待機○》
0～0.5m 床下浸水	平屋建 2階建	●浸水の被害を軽減し、避難行動をとってください。	●浸水被害は発生せず、大切なものは確保へ上りて待機しましょう。

被害想定 凡例

被害想定	必要となる避難行動
氾濫流	《早期立退き避難》 氾濫流による家屋倒壊のおそれ
河岸浸食	《早期立退き避難》 河岸浸食による家屋流失のおそれ

～『自宅待機』～
大雨洪水災害や津波による災害などは、安全に避難場所まで避難する時間がない場合や、避難などが困難な場合は、自宅や近所の建物の2階など、比較的安全な場所に留まることを考慮します。『自宅待機』『産産避難』などと呼ばれます。

洪水時の避難のこころえ

- 避難指示（緊急）が発令されたとき
 - 避難していない人は、早急な地区の『一時避難場所』もしくは『避難所』へ避難してください。
 - 近くに避難場所がない場合や、避難が遅れた場合は、命を守る行動をとってください。
- 避難勧告が発令されたとき
 - 火の元、戸締りを確認の上、まずは、煙やほていなどの『集合場所』に集まります。
 - ご近所の学習確認を行った後、みんなで一緒に地区の『一時避難場所』もしくは『避難所』へ避難します。
- 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき
 - 避難に時間がかかる方は、避難を躊躇しないでください。
 - 家族の所在確認や非常用持出品等の準備を始めましょう。
- テレビ・ラジオから大雨警報・洪水警報に関する情報が発表されたとき
 - テレビ・ラジオ、防災行政無線等で、気象情報、緊急情報を確認しましょう。

情報収集と災害への備え

インターネットやスマートフォンで姫川や市内の河川の水位情報と雨量情報を知ることができます。

高田河川国道事務所 川の防災情報

URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>

新潟県 河川防災情報システム

URL: <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/index.html>

普段から災害に備え、いざという時にどのように行動するかを考えておきましょう。

●日頃の備え

- 普段から非常持出品の準備をしておきましょう。
- ハザードマップを参考に、避難先などをご家族やご近所で話し合っておきましょう。
- 勤務先や学校など外出時の家族の避難先なども確認しておきましょう。
- 付近の危険箇所を確認し、大雨の時の安全な避難経路を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておこう！

●緊急災害用伝言ダイヤル「171」

●伝言サービス

- 伝言サービス提供日
- 受付時間
- 伝言サービス料
- 伝言サービス料

豪雨時・災害時の情報伝達

